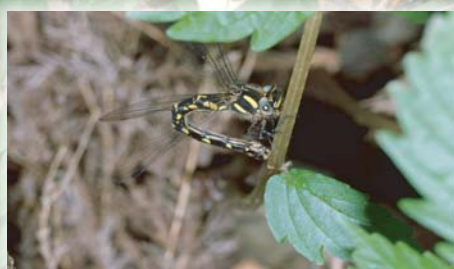


桜田烈士を育んだ県北の自然
～県内の生物専門家による講演会～

第1回

水戸周辺の自然

～照葉樹林の植物と丘陵地や
ひたち海浜公園の昆虫を中心として～



講師：小菅 次男 氏（茨城生物の会会長）
藤田 弘道 氏（茨城生物の会理事）

日時：平成20年10月25日（土）9時30分～11時30分
場所：水戸市男女文化センター びよんど 講習室（定員80名）
参加費：無料
申込み：FAX 又は E-mail にて申し込んで下さい

主催・問い合わせ先

水戸藩開藩四百年記念『桜田門外ノ変』映画化支援の会 ホームページ：<http://www.mitoppo.jp>
〒310-0011 水戸市三の丸1-5-38 茨城県三の丸庁舎 TEL/FAX:029-303-0310 E-mail: info@mitoppo.jp

水戸藩開藩四百年記念『桜田門外ノ変』映画化支援の会

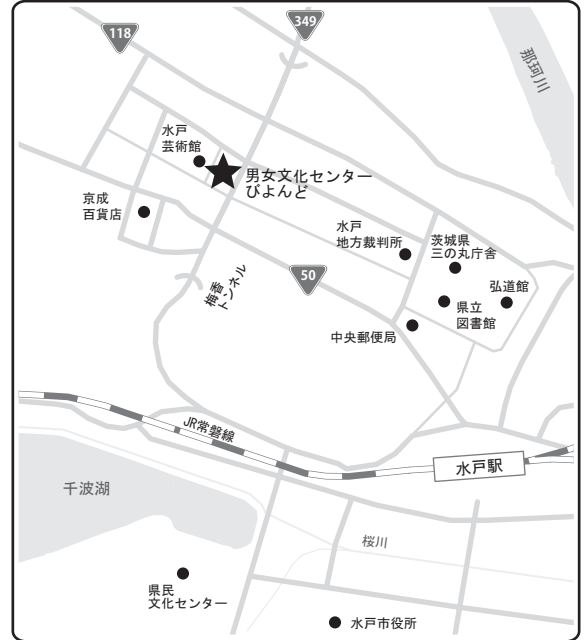
桜田烈士を育んだ県北の自然 ～県内の生物専門家による講演会～

第1回 水戸周辺の自然

～照葉樹林の植物と丘陵地やひたち海浜公園の昆虫を中心として～

水戸市男女文化センターびよんど
水戸市五軒町1丁目2番12号
Tel 029-226-3161(代表)

会場までのアクセス



< 内容 >

照葉樹林の植物、丘陵地や国営ひたち海浜公園の昆虫を中心に、この地域の自然を紹介します。

< 講師：小菅 次男 氏 >

1936年水戸市生れ。1960年茨城大学教育学部卒業。同年より公立小学校教諭。1963年県立高等学校教諭。1988年～県立高校教頭(1校)、1990年～1997年同校長(佐和高校など3校)、2001年～現在までNHK学園高校選任指導員。

※役職等 茨城生物の会会長、茨城県自然環境保全審議会副会長
環境省希少野生動物保護推進員、茨城県環境アドバイザー

※表彰 自然公園指導員功労者茨城県知事表彰(2003年)
自然環境保全功労者環境大臣表彰(2006年)

※主要著書 茨城の自然をたずねて(共著、築地書館)、野の博物館(朝日新聞社)

< 講師：藤田 弘道 氏 >

1943年常陸大宮市生れ。1967年茨城大学教育学部卒業。同年より公立小学校教諭(9年間)。公立中学校教諭(19年間)、1995年公立小学校教頭(2年間)、1997年～公立小学校校長(7年間)。2004年、常陸大宮市図書館情報館長(1年間)

※役職等 茨城生物の会理事、茨城県植物園インタープリター
常陸大宮市大宮公民館上野分館長

※主要著書 茨城県植物誌(共著、茨城県植物誌刊行会)

自然誌講座シリーズ(全5回)

桜田烈士を育んだ県北の自然 ～県内の生物専門家による講演会～

第1回 水戸周辺の自然

10月25日(水戸市)

第2回 奥久慈の植物

11月8日(常陸大宮市)

第3回 植物から見た県北の自然

11月22日(ひたちなか市)

第4回 花園・花貫県立自然公園内の自然

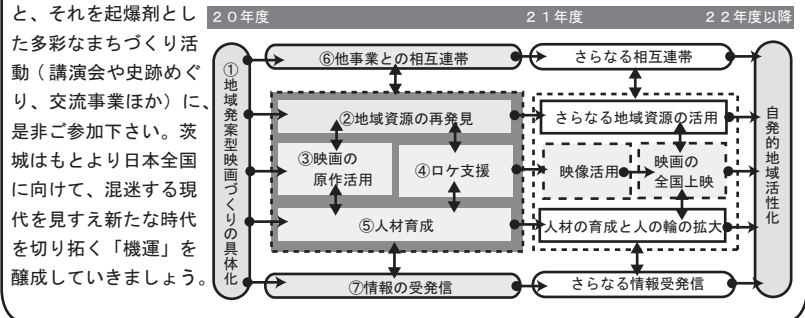
12月6日(高萩市)

第5回 動物から見た県北の自然

12月13日(水戸市)

『桜田門外ノ変』映画化支援の会の活動概要

江戸の末期、水戸藩による幕政改革をめざした学問・教育思想は、押し寄せる列強の脅威に対して、諸藩を「尊王攘夷」の旗印の下に糾合させるバックボーンとなりました。さらに、幕権回復のために断行された安政の大獄に起因する水戸藩浪士らによる「桜田門外ノ変」は、幕末日本に大きな転機をもたらし、雄藩や尊攘志士らの列強との交戦、続く明治維新への先駆となりました。私たちは、水戸藩が最も熱く燃えた日々を郷土の美しい風景とともに映し出す『桜田門外ノ変』の映画化をめざします。どうぞ皆さん、この映画づくりへの支援活動と、それを起爆剤とした多彩なまちづくり活動(講演会や史跡めぐり、交流事業ほか)に、是非ご参加下さい。茨城はもとより日本全国に向けて、混迷する現代を見すえ新たな時代を切り拓く「機運」を醸成していきましょう。



参加申込書

講座名 < 自然誌講座シリーズ 第1回 水戸周辺の自然 >

所属

氏名

電話

Fax

Eメール

お申し込み 電話(Fax兼) 029-303-0310

※頂いた個人情報は適切に管理いたします。
※事務局からイベント等のご案内をさせて頂くことがあります。